

ひろしまけん

げんさい けんみんそう

うんどう

広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動

ひろしま

ぼう さい

防災ハンドブック

じ しん

つ なみ

いのち

まも

地震・津波から命を守るため



コウスケ

ジスケ

キョウスケ

ひろしまけんぼうさい

広島県防災キャラクター【タスケ三兄弟】

さんきょうだい

しょうがくせい ていがくねんよう
小学生(低学年用)

地震が おきたときの行動

地震がおきたとき 命を まもる行動は そのとき そのばしょでちがいます
いろいろなばしょで地震がおきたときのことを そうぞうし「いまここで 地震がおきたら
どう行動すればよいか」を かんがえておきましょう

◆まずは「安全行動 1-2-3」



がっこう・家のきけん

◆がっこうで休みじかんに大地震がおこったら

きょうしつで地震がおこったら どんなきけんなことが おこるでしょうか？

下の絵を見て どうすればよいか かんがえてみましょう



◆家にいるときに大地震がおこったら

どんなきけんなことが おこるでしょうか？

下の絵を見て どうすればよいか かんがえてみましょう



つうがくろ・外のきけん そと

◆がっこうからの かえりみちで おおじしん 大地震がおこったら
どんなきけんなことが おこるでしょうか？

した え み 下の絵を見て どうすればよいか かんがえてみましょう



◆そとに で 出かけているときに おおじしん 大地震がおこったら
どんなきけんなことが おこるでしょうか？

した え み 下の絵を見て どうすればよいか かんがえてみましょう



まちには どんないがいが？

広島県内でおこるかもしれない地震のうち 最大のひがいがあると かんがえられている地震が
「南海トラフ巨大地震」です

南海トラフ巨大地震がおこったばあい 広島県でどんないがいが かんがえられているかを知りましょう



- 広島県内では最大震度6強のゆれ、
最大4メートルの津波がおり、
こんなにひがいが出ると考えられているよ!

避難所などへ
避難する人の数

590,000人

地盤が液体のように
やわらかくなって全部か、
ほとんど壊れる建物の数

40,000棟

津波で全部か、
ほとんど壊れる
建物の数

15,000棟

強いゆれで全部か、
ほとんど壊れる建物の数

14,000棟

津波で
亡くなる人の数

14,000人

建物が壊れて
亡くなる人の数

1,000人

火事で焼けて
なくなる建物の数

400棟

※ひがいは、およその数で表しています。

地震のゆれの様子を見てみよう

<p>震度5強</p>	<p>ものにつかまらな ある歩くことが できません</p> <p>たなにあるもの おちてきます</p> 	<p>震度6強</p>	<p>ゆれでかが うご動いたり たおれたり します</p> 
<p>震度6弱</p>	<p>かべのタイルや まどガラスが こわれたり ドアがひら かなくなる かもしれ ません</p> 	<p>震度7</p>	<p>木でつく られた家 はかたむ いたり こわれ たりす ることが ありま す</p> 

津波について知っておこう

津波からたすかるためには津波をよく知ることが大切です

海がふきんで地震のゆれを感じたり
津波けいほうなどがはっぴょうされたら
すぐに高いばしょにひなんしましょう

ちゆういするところ

- ① 津波はジェット機とおなじぐらいのはやさでやってきます
- ② 津波はくりかえしおそってきます
- ③ 30cmぐらいの高さの津波でも立ってられないほどの力があります



津波避難ばしょ



津波避難ビル



津波ちゆうい



津波がくるところ



津波フラッグ

この標識にちゆういしよう



ひなん所^{じよ}で すごすことになったら

(1) ひなん所^{じよ}って どんなところ

した^しえ^えみ^みて ひなん所^{じよ}は どんなところか かんがえてみましょう



(2) ひなん所^{じよ}で きをつけることや まもらなければならないことは

さわがない



おうちのひと^{ひと}と はなれない



じゅんばんを まもる



地震のまえに 準備すること

◆かぞくと防災について はなしあう

- ・かぞくのれんらくほうほうやしゅうごうばしょをきめておきましょう
- ・かぞくや きんじょのひと地震のあと どうするかはなしあっておきましょう



◆防災訓練に さんかする

- ・地域の防災訓練にさんかして地震や津波のときどうすればいいかべんきょうしましょう



◆地域の あぶないばしょを確認する

- ・地域の防災マップでじぶんたちのすむ地域のあぶないばしょをしらべておきましょう



地震がおきたときは家のなかもきけんがいっぱいかぞくとも そうだんしてたいさくをしておこう



部屋のなかのあぶないところを みなおす

◆家具が たおれたり

おちたりしないように とめる

- ・テレビ・パソコン・家具などはうごかないように とめがねなどで とめる



◆けがを防ぐためにすること

- ・ガラスがわれて とびちらないようにする
- ・かいちゅうでんとうやスリッパ・スニーカーなどを よういする



地震がおきたあと こまらないために

ひなん所に もっていくものを リュックサックにつめておき

いつでもすぐに持ちだせるように よういをおきましょう



【たとえば】

- ・のみ水 (3日分いじょう) ・たべもの (3日分いじょう) ・くすり
- ・かいちゅうでんとう ・ラジオ ・マッチまたはライター、ローソク
- ・救急箱 ・したぎ ・くつ下 ・ふく ・よびの電池 ・ポリ袋
- ・ヘルメット ・けいたいじゅうでんき ・ぐんて ・マスク
- ・アルコールしょうどくえき ・たいおんけい ・ティッシュペーパー
- ・ウエットティッシュ、タオル ・ほけんしょう ・きちょうひん

ひなんするときのことを かんがえよう

^{じしん}地震がおきたあと どこにひなんすればよいかを おうちの^{ひと}人と いっしょにかんがえよう

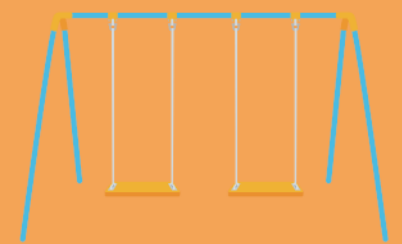
① がっこうにいたら…



② ^{いえ}家にいたら…



③ よくいくばしょ () にいたら…



★おうちの^{ひと}人との れんらくほうほう

でんわがつかえないときは どうしますか？しゅうごうばしょなどを きめておこう